

## ノロウイルス感染者の発生について

島根県県央保健所から、令和7年7月4日21時過ぎ、国立三瓶青少年交流の家を退所した利用者1人がノロウイルスに感染していることが確認された旨の報告を受けました。

国立三瓶青少年交流の家は、保健所の指示を踏まえ、早急に該当の団体が利用した宿泊棟、活動場所のトイレ等について消毒を行うとともに、感染した利用者が宿泊していたフロアの廊下の消毒、布団の交換等を行い、二次感染防止を図りました。

保健所においては、当所の立ち入り検査を行うとともに、食堂職員の検便検査、利用団体の健康調査等を行いました。感染源、感染経路を特定できなかったと報告がありました。

この度は、利用団体の皆様にご心配、ご迷惑をおかけしたことについて、お詫びいたします。

国立三瓶青少年交流の家においては、これまでも国立三瓶青少年交流の家危機管理マニュアルに基づき、感染症の防止に努めてまいりましたが、利用者の皆様が更に安全・安心にご利用いただけるようにするため、食堂をはじめとする委託業者とも十分に連携しながら、引き続き感染症防止対策を実施してまいります。

利用者の皆様におかれましても、手洗いの徹底を図るなど、感染症拡大防止対策にご理解、ご協力をくださるようお願いいたします。

令和7年7月15日

国立三瓶青少年交流の家

所長 尾 原 敏 則